

二人は大きな胸とお尻を
露わにして誘ってくる…
二人の発情した香りが
部屋中に漂い始めている

私からでいいの？
黒江さん…

うん
今日は愛貴がする日
だったんでしょ？

あと黒江さんじゃなくて
美紗でいいよ♡





美紗ちゃんかあ…

まあ愛貴なら
いっか♪

じゃ、じゃあ…
美紗ちゃん♥



だき〜

だき〜

はあ〜

ああ〜

挿入れるぞ
藤宮...!

愛貴の喘ぎ声
可愛い...♥

ん...あああ♥
先生の大きい...♥

いつも学校で
こんなえっちなこと
してたんだあ...♥

ぶるん〜

ぶるん〜

ズッポ〜

ズッポ〜



だっ、ダメです先生♡
美紗ちゃんにこんな声
聞かれちゃ...おおッ♡♡♡

普段はもっと
エロい声出してる
もんな藤宮♡

んっ♡ふっ♡♡

おっ♡

はぁ♡

ぶるん♡

ぶるん♡

スッポッ♡

スッポッ♡

うわぁ
エロすぎ...♡

ああ...♡私も
ムラムラしてきた...♡



焦らされてたから... 私もうイクッ... イクイク♡♡♡

黒江もすぐに してやるからな♡

イクぞ 藤宮ッ...

あゝ♡

ぐちゃ♡

おッ♡

ズッ♡

ぶるん♡

ズッ♡

ちよっ 先生♡♡♡

愛貴に集中して... んあぁッ♡♡♡





今日もいい
イキっぷりだぞ
藤宮…♥

あ…ありがとう
ございます…♥

美紗ちゃんに見られて
恥ずかしいはずなのに…♥

なんだかすごく
興奮しちゃう…♥

いっ♡

いっ♡

いっ♡

ビク♡

おっ♡

フ♡

フ♡

フ♡

ドク♡

ドク♡

ビク♡

ビク♡

ビク♡

よし…
待たせたな
黒江

先生もういっぱい
出してるけど…
まだできるの？



当然だろ
黒江ッ……!

はん…
あん…
あ…♡♡

おっきいの
きたあ…♡♡

たふ♡♡

ズッ♡

ズッ♡

ドキ♡

ドキ♡

ビク♡

あッ♡

あッ♡



なっ…なんでまだ
こんなに固いのよお…♡

可愛い二人が
目の前に
いるからだよ…!

ドキッ

先生…!

ズッ

たっ

っ♡♡
それじゃお仕置きに
ならないでしょ♡♡♡

ビク

あッ

おっ



二人がバテるまで
先生は頑張るぞッ

藤宮も一緒に
イこうなッ

んおっ♡
ははい♡♡

おッ

ぐちゃ♡
ぐちゃ♡

たぷ♡

ズッ♡

ズッ♡

たぷ♡

ま...また大きく...

ヤバイ♡イくっ♡
先生♡イくっ♡♡

ビク♡

ビク♡

ん♡

おッ

あッ♡

お♡







三人が立てなくなるほど
イキ疲れた頃には外は暗くなり
俺の身体も限界を迎えていた





二人とも…
先生を許して
くれるか？

は…はいい…♡

もう…
仕方ないわね…♡

今日はこれくらいに
してあげる…♡

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ



藤宮：黒江：
ありがとう…

さあ今日はもう遅いし
二人とも服を着て…

愛貴
今度は一緒に
先生の家行こうよ♡

せ、先生の
おうち…!!

うん♡
時間も周りも気にせず
いっぱいエッチできるよ♡



う…うん！
先生が大丈夫なら…！

せ、先生は
構わないが…

じゃあ決まり！

でも学校でするのも
ドキドキするね♡

ウフフ…♡

自分が知らない間に
三人はすっかり仲良
なっていたらしい

愛おしい三人を守るためにも
俺がもっとしっかりせねば





























































